



モリマーグループ
MOLYMER GROUP

AGMボード

AGM BOARD

モリマーマテックス株式会社

FRP が可能にした ポスト鋼板 AGM BOARD



AGMボードはガラス繊維を強化材とし、それに不飽和ポリエステル樹脂を含浸させて成形したFRPと剛性に優れたレジンコンクリートの複合板です。従来の鋼板やセメント製品に比べ、耐久性、耐食性、耐衝撃性に優れ、しかも軽量です。また、施工が容易でしかもメンテナンスフリーです。まさに種々の条件を満たす理想的な耐久材料と言えます。

AGMボードは主に電力トラフ蓋、水槽・側溝等の蓋、階段の踏板、壁板などにご使用になれますが、環境、条件、用途に応じて多目的に使用していただける当社の製品です。

特長

1 軽量で、しかも頑丈

単位体積あたりの質量は、鋼板の約1/4ですから非常に軽く、しかも曲げ強さは、セメント製品の10～20倍も優れているので、まさに理想的な材料といえます。

2 優れた耐久性・耐候性

熱硬化性樹脂製ですから耐食性・耐候性に優れ、腐食の心配がありません。したがって、鋼板の場合のように腐食防止のための定期的な再塗装といったようなメンテナンスは一切不要です。

3 優れた耐衝撃性・耐摩耗性

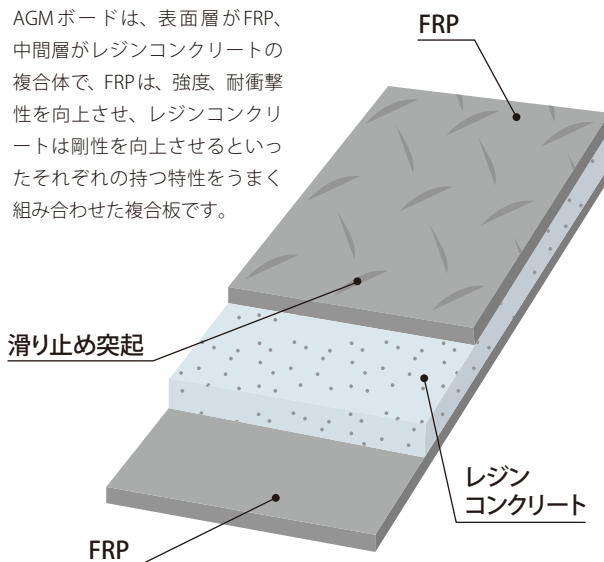
表面がFRP層で覆われているため、耐衝撃性・耐摩耗性は、セメント製品に比べて、はるかに優れています。

4 優れた加工性

ダイヤモンドカッターまたはダイヤモンドドリルなどを使用すれば、自在に切断孔開けができ、しかも仕上がりが大変きれいです。

■ 断面構成

AGMボードは、表面層がFRP、中間層がレジンコンクリートの複合体で、FRPは、強度、耐衝撃性を向上させ、レジンコンクリートは剛性を向上させるといったそれぞれの持つ特性をうまく組み合わせた複合板です。



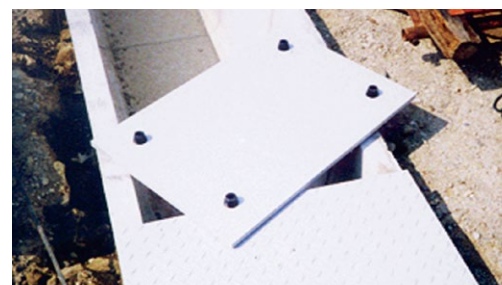
[切断] ダイヤモンドカッター



[開孔] ダイヤモンドコアドリル



施工例

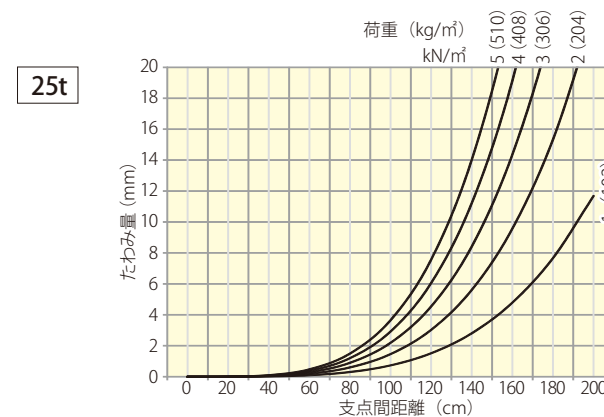
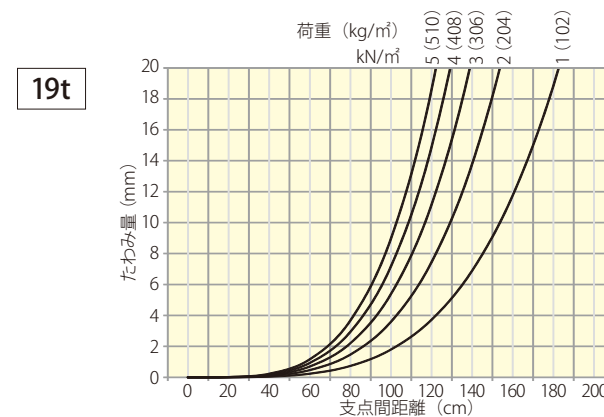
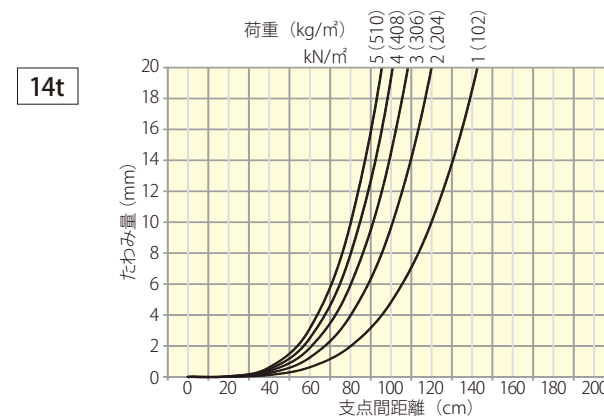


□ 支点間距離とたわみの関係

●等分布荷重が作用した場合について支点間距離とたわみの関係をグラフに示します。

〈例〉板厚19 (mm) 幅1 (m) のレジン複合板を
支点間距離1000 (mm)

で1kNの等分布荷重が加わったときのたわみはグラフより約2mmとなります。



■ 種類

- ボードには、標準品として、以下のような種類があります。左のグラフを御覧いただいて使用条件にあったものを選択して下さい。
- 表面の色は、グレーです。
- 他サイズ品、高強度品、低たわみ品を御希望の場合には別途ご相談下さい。

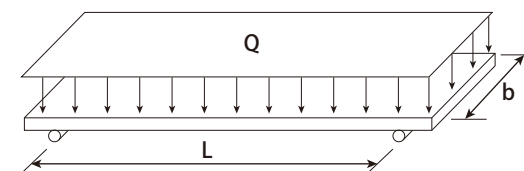
板厚 (mm)	板幅 (mm)	板長 (mm)	重量 (kg/m ²)
14	1003	2009	30
19			40
25			53

■ AGMボードの特性

板厚 (mm)	14	19	25
曲げ強さ (N/mm ²)	88.3	68.6	49.0
曲げ弾性率 (×10 ⁴ N/mm ²)	1.18	1.27	1.37
比重	2.0		
熱変形温度 (°C)	120		

※上記は滑り止め突起を上面に据え付けた特性

設計資料

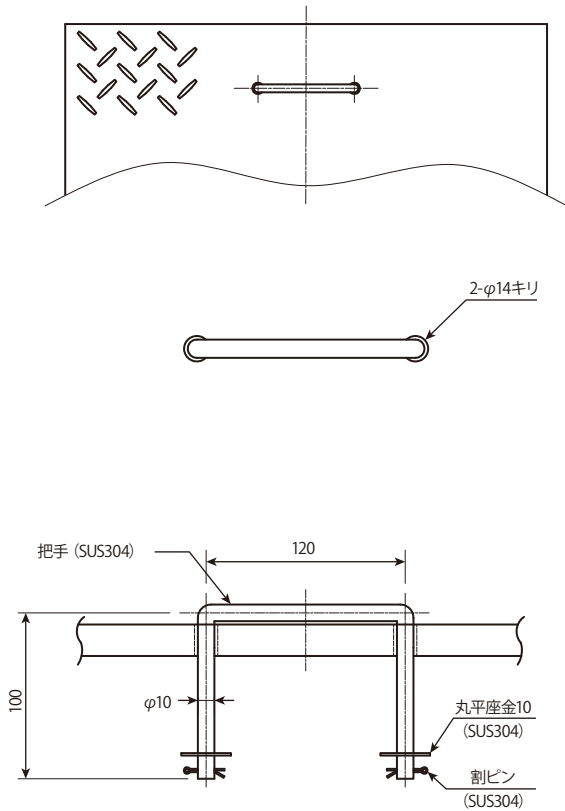


等分布荷重

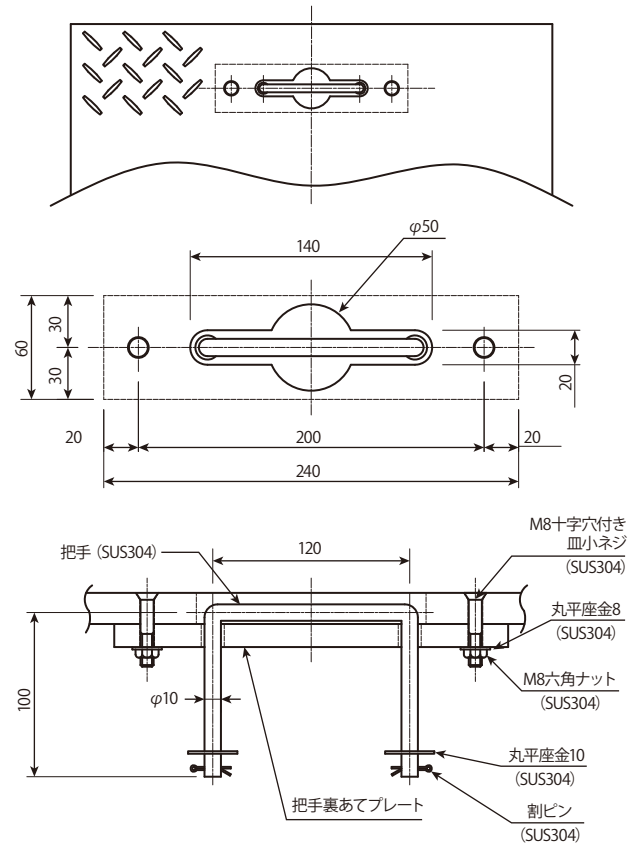
板厚 (mm)	14	19	25
たわみ量 (mm)	$\frac{QL^4}{2.07 \times 10^7}$	$\frac{QL^4}{5.57 \times 10^7}$	$\frac{QL^4}{1.37 \times 10^8}$
発生応力 (N/mm ²)	$\frac{QL^2}{2610}$	$\frac{QL^2}{4810}$	$\frac{QL^2}{8330}$

Q: 等分布荷重 (kN/m²) L: 支点間距離 (cm)

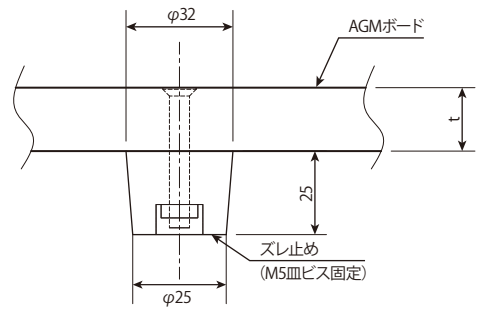
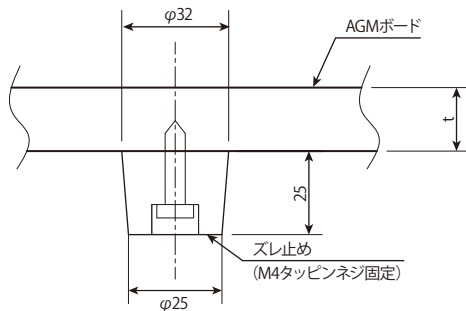
標準取手図



落とし込み取手図



ズレ止め図



【注意事項】



- 支持スパン・荷重の関係は「荷重-たわみ線図」を守って下さい。
- 一般の大气中で使用されることを前提としております。水や腐食性ガスに長期に接触するような使用をされる場合は別途ご相談下さい。
- 穴あけ・切断等の加工をする場合は、切り屑粉塵から目を護る為に保護眼鏡をして下さい。また、状況に応じて適切な保護具（防塵マスク、保護着等）を使用して下さい。
- 本製品は可燃性のため火気を近づけないでください。（溶接のスパーク火花・たき火）
- 製品の破損防止のため、製品上面（FRP表面）に対して、金属製の鋭利なもの（スパイクで歩く、ピックを突き刺す等）での接触を避けて下さい。
- 濡れた状態で製品上面に乗る際には、滑りやすいため、転倒に注意して下さい。
- 本製品は、滑り止め突起面を上面にしてご使用ください。

*商品の品質改良に伴い、仕様の一部を予告なく変更する場合がありますので、ご了承ください。

モリマーマテックス株式会社

本社/技術本部 〒252-0132 神奈川県相模原市緑区橋本台1丁目26番6号
TEL (042) 772-1171 (代) FAX (042) 773-0167

茨城工場 〒319-1556 茨城県北茨城市中郷町日棚字宝壺2139番（南中郷工業団地内）
TEL (0293) 35-9050 (代) FAX (0293) 35-9060

東京営業部 〒103-0027 東京都中央区日本橋3丁目2番9号 三晶ビル3F
TEL (03) 3516-0277 (代) FAX (03) 3516-0288

大阪営業部 〒541-0053 大阪府大阪市中央区本町2丁目3番8号 三甲大阪本町ビル7F
TEL (06) 6267-0688 (代) FAX (06) 6267-0689

MOLYMER MATEX (THAILAND) CO., LTD.

本社・工場 480 Moo 4, Sukhumvit Road, Phraeksa Subdistrict, Mueang District, Samut Prakan, 10280.
TEL +66(0)2-323-0774-6 FAX +66(0)2-323-0777

ISO9001

認証番号 JCQA-0571
認証機関
日本化学キューエイ株式会社
ISO14001
認証番号 JCQA-E-0997
認証機関
日本化学キューエイ株式会社

モリマーマテックス株式会社:

本社/技術本部、茨城工場、東京営業部、大阪営業部

範囲:
繊維強化プラスチック (FRP) 及び
熱可塑性プラスチックの開発・設計、
製造、販売

ISO9001

認証番号 TH014738
認証機関 BUREAU VERITAS Certification

MOLYMER MATEX (THAILAND) CO., LTD.

範囲:
Design, Development and manufacturing of fiber reinforced plastic

Home Page <http://www.molymermatex.co.jp>